

## 第2回自動車整備技術の高度化検討会 議事概要

1. 日時：平成23年11月2日(水) 10:30~12:00

2. 場所：経済産業省別館 11階 1111号会議室

3. 出席者：

須田座長、古川委員、廣中委員、小松委員、根來委員、帯刀委員、渡辺委員、中嶋委員  
高橋委員、齋木委員、江坂委員、今田委員、島委員

4. 議事概要

(1) 汎用スキャンツールの標準仕様と調査

- ① 事務局から標準仕様機フィージビリティスタディの調査結果について資料3により、標準仕様機を使用した調査について資料4により説明を行い、資料4に基づき調査を行うことについて了承された。
- ② 江坂委員よりOBDを活用した検査の高度化に関する調査について資料5により説明があった。主な意見は以下のとおり
  - ・スキャンツールの使いやすさだけでなく、作業時のエラーの起こりやすさなど別の観点からも調査が必要ではないか。
  - ・スキャンツールを接続するカプラーの位置について情報提供を行う用意がある。
  - ・カプラーが、別の用途で使用されている場合の取り扱いも考慮すべき。
- ③ 渡辺委員より大型車（ディーゼル商用車）のスキャンツールWGの活動報告について説明があった。主な意見は以下のとおり。
  - ・大型車は、小型車以上に情報発信が少ないと聞いており、是非お願いしたい。

(2) 資格制度の活用方策

渡辺委員より資格制度活用WGの活動報告について資料7により説明があった。主な意見は以下のとおり。

- ・今後、二級自動車整備士には、新技術の構造・機能の知識レベルまで、一級自動車整備士では、その知識を元に高度な故障診断ができることが求められるのではないか。
- ・現行の二級自動車整備士の教育課程に、単純に新技術の項目を加えるのには無理があるのではないか。
- ・パソコンを使用した情報技術や、システム技術を今後取り入れていく必要があるのではないか。
- ・高電圧の車両を扱う上で、安全面への配慮について教育が必要ではないか。
- ・電波や通信に関する知識が今後必要となってくるのではないか。
- ・スキャンツールの取り扱いについて、三級自動車整備士では、点検整備や車検で必要になる作業サポート機能まで、二級自動車整備士では、DTCコードからの診断まで、一級自動車整備士は、DTCコードが出ないような故障に対する診断技術が今後は求められるのではないか。

(3) 整備技術の高度化に向けた諸課題

事務局から整備技術の高度化に向けた諸課題について資料8により説明を行い、渡辺委員より整備情報のネットワーク化について別紙2により説明があった。主な意見は以下のとおり。

- ・FAINESについて、将来的にはスキャンツールと接続し、整備作業と連動して情報が出てくるようなネットワーク化まで考えるとさらにいいものになるのではないか。

5. 今後の予定について

事務局から資料9により説明を行い、第3回検討会を1月頃を開催することで了承された。